

萬亀

B A N K I

2024年6月

vol. 146



[特集] 暑い季節を乗り切る
寺養生



もくじ

- 1 住職挨拶
- 3 これからの護持について
- 5 [特集]
暑い季節を乗り切る
寺養生
- 7 輪島だより
- 9暮らしをととのえる
お寺のおはなし
- 10 東長寺こども食堂
- 11 お知らせ
- 15 山内行事
- 17 東長寺基本情報／
読者のひろば
- 18 結の会のご案内

住職挨拶

昭和世代という言葉を聞いて
久しいですが、斯くいう私も昭和
の生まれで、現在は平成生まれの
僧侶と協働し、令和生まれの子
供を育てています。時代の変化に
伴いその価値観が変わってきてい
ることを嘆くつもりはなく、若い
世代の活躍を願うことに誠実でい
たいと思っています。同時に次世
代に素敵な昭和世代の言葉や生
き様を伝えていくのも私の使命だ
と感じています。

葬儀という儀礼は一見、型が決

まっているように思います。実際
には故人の意思が強く反映された
ものが多く、故人は乾いた寿司は
絶対口にしなかったから、桶に
入った寿司は出さないという喪主
様がおられたり、葬儀を無事に
執り行うことができたということ
は、立派に喪主を務める後継者
が育ったということなのだから、
献盃ではなくて乾杯と言いたいと
言葉を残して亡くなった方が居ら
れたり。食事やお酒の席では特に
そういった昭和の粋な振る舞いに



立ち会うことがあります。

先日、先代住職の恩師にあたる御老師からお声がけをいただき、都内のバーでお酒をご一緒いたしました。感染症の流行や老師の御活躍による御多忙から、およそ十年ぶりのお席になったのですが、忘れ難い夜になりました。

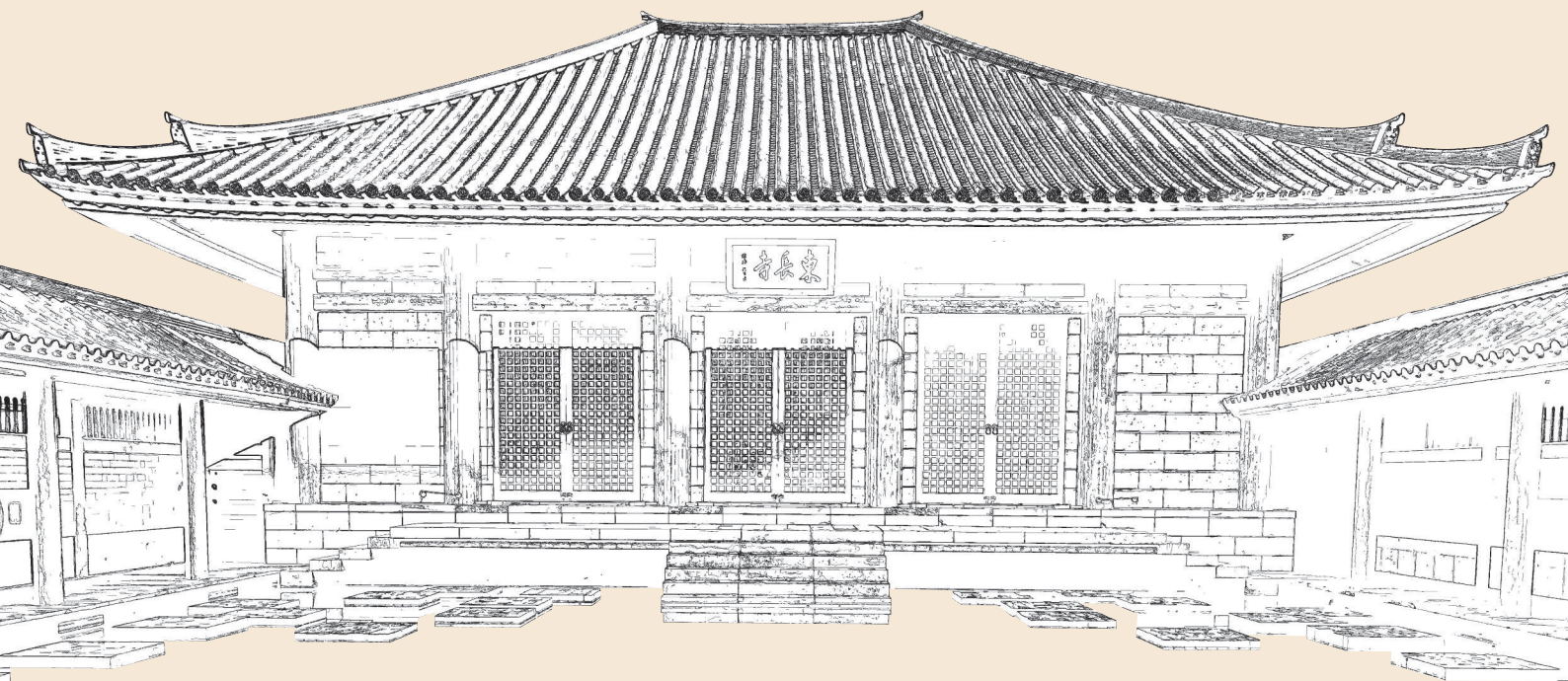
ブランデーと歌がお好きな老師はヘネシーを飲みながらビートルズを歌うんですが、私が英国に住んでいたことから、本当はスコッチを飲んだ方が格好がつくかなあと少し気恥ずかしそうにされるのです。自身の英語が米国訛りであることを自覚し、本当はシナトラの方が良いかななどと言いながら、私のような若い僧侶にまで気をかけてくださいます。どこまでも粹なその姿を私は目に焼き付け、四十年後、私が老師と同じ年になった時に、こんな素敵な方

がいたんだということを、令和時代の僧侶にも伝えたいと思いました。老師はチェーサーに氷で薄めたアクエリ阿斯を飲むという変わった飲み方をされるのですが、私がそれを事前に用意していたことに驚かれながら、笑ってらっしゃるその笑顔が多くの方に慕われ、愛されてきた昭和の男性の可愛げであり魅力なのだと感じました。

時代の変化と共に、寺院のあり方も変わっていくことは必然で、昭和の時代とは比較にならないほど多くの檀信徒の皆様が東長寺を現在支えてくださっております。それぞれの方に素晴らしい生き様、粹さまがあるわけで、私はそれを誰よりも多く見ることができる立場でいたいと思っております。引き続き変わらぬ御愛顧を賜りまして、山内一堂皆様のお参りをお待ちしております。 合 掌

東長寺住職

瀧澤遥風



❖ 大切なお知らせ ❖

これからの 護持について

過日、東長寺護持会臨時総会が開催され、護持会解散案について採決された結果

有効投票数292票のうち、賛成287票、反対5票となり、

東長寺護持会は令和五年度をもって解散することとなりました。

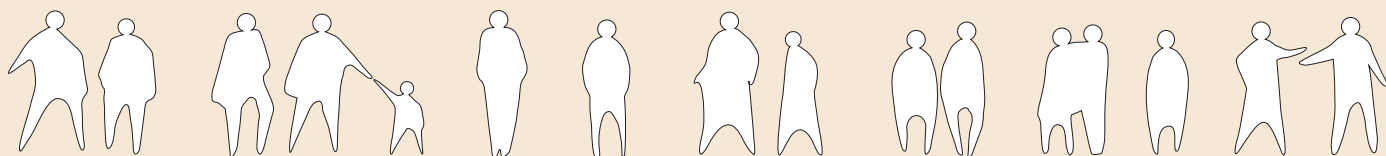
三十余年の長きにわたり、護持会を構成する御檀家の皆さまより

「伽藍維持費」として護持援助を賜ってまいりましたが

今年の五月二十六日の会計報告をもって解散となります。

今後は御檀家様、縁の会・結の会の会員様別け隔てなく

すべての檀信徒の皆さまとともにお寺を護り、営んでまいります。



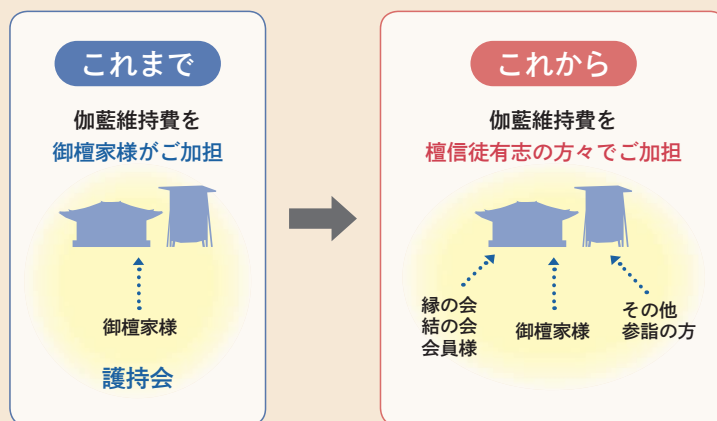
ご有志の方々から ご賛助を賜る窓口を設けます

皆様のお寺を 末長く維持していくために

護持会会員様(御檀家様)に毎年ご加担いただいていた伽藍維持費によって、これまで山内の様々な場所の保全・修理をしてまいりました。大切な伽藍を維持し皆様のご供養を続けていくことは、当山の使命と心得ております。

今後、伽藍の維持費は檀家のみならず全檀信徒の信施収入より支出することとし、さらに、有志の方々から東長寺の施設維持のご援助を賜るための窓口を設けることといたしました。

この窓口へのご寄進は、あくまでもお一人おひとりのお心に任せるものであり、強制ではございません。また、御檀家様には伽藍維持費としてご加担いただいていた六千円を減額した「各家墓地の使用料」のみ御請求させていただくことといたします。



窓口は現在、準備中でございます。次号萬亀にて詳細をご報告する予定です。何卒、宜しくご理解賜り、ご協力ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。



護持会発足の年、アールスペースとして活用されていた羅漢堂。現在はお参りの場として皆さまをお迎えしています。

東長寺住職より

檀信徒の皆さまへ
感謝申し上げます

平成三年に発足して以降、三十年以上にわたり御檀家の皆さまよりたいへん力強い援助をいただいております。深く感謝申し上げます。

の檀信徒様にお願いすることとなります。今後は、有志の方々による賛助の窓口を設けたいと思いますので、ご寄進いただきますれば幸甚でございます。

東長寺には縁の会や結の会など多くの信徒様がおりますが、今後は檀信徒として隔たりなく寺院の維持援助を賜りながら、長く皆さまに愛される寺院運営に勤めてゆく所存でございます。

山内一同精励に努め、東長寺護持に最善を尽くしてまいりますので今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



暑い季節を 乗り切る 寺養生

夏を元気にすごすための
ヒントを探しに
お寺にでかけましょう



そもそも養生とは

バランスよく
過不足のない

食事

精神

を穏やかに、
ストレスを避ける※

ほどよい

運動

休息

を必要十分に

江戸時代に書かれた健康書の古典『養生訓』によると、「食事」「運動」「精神」「休息」という4つの視点で、一人ひとりがみずから心身を調えることが養生のかなめとされています。

※『養生訓』では、健康のためには行きすぎた欲求と感情を抑えることを提唱。
「とくに怒りは養生の大敵、心はいつも静かに」と説いています。

記録的猛暑となった昨年につづき、
今年の夏も全国的に気温が高くなると予想されています。
あの厳しい日差しを思うと、
ご自宅に籠もってしまいたくなるかもしれません。
しかし、今年はお寺に楽しく集って元気に過ごすことを
皆様におすすめしたいと思います。
名付けて「寺養生」。
山内では養生の実践にもつながる様々な教室や同好会、
イベントを多数開催しています。
楽しみながら参加することで、なんだか元気になる。
そんな「養生の場」としてお寺をご活用ください。

山内イベント・同好会のご参加で

この夏できる寺養生

身体を動かしたり、ご参加の方同士で交流したり、
ときにはその場にいる銘々で静かな集中の時間を共にしたり……。
ご興味に沿って自由に参加いただけるお寺の集い。
楽しみながらお寺に通って、暑さに負けない元気をキープしましょう。



食材と器「つくり手」に思いをはせて

～輪島塗でいただく精進料理の会～

7月26日開催

食事



好評だったチャリティイベントを、夏の旬の食材を用いて開催します。前回ご参加の方からは「お肉無し・油脂少なめのお料理がこんなに満足感があるなんて驚き。輪島塗も堪能しました」とのお声をいただきました。申し込み方法など詳細は11ページをご覧ください

大きな声で歌ってみましょう

～仏教讃歌を歌う会～

ひと月に1回開催

精神



歌を通して仏教の教えを知る「仏教讃歌」を合唱形式で楽しむ同好会です。一人で歌うのとは、また違った楽しさ、喜びを感じられるのがコーラスです。声楽家の先生より手引きをいただきながら、皆で声を揃えて歌いましょう。レッスンの後は気持ちもすっきり。

負担が少ないゆったり動作で

夏こそおすすめ！～太極拳～

ひと月に3回開催

運動



文由閣で開催している太極拳は、開催日も多く参加しやすい会。初めての方は、まずはひとつの型を丁寧にしてみましょう。息が上がるような激しい動きはありませんから、ご家庭で復習なさるのも良いですよ。僧侶の塩脇師も、おつとめの日は参加しています。

手書きのお手紙をあのへ

～書道教室～

ひと月に1～2回開催

精神



あまりに暑くて外に出かけられないときは、暑中御見舞いを送り合ってはいかがでしょう。心をこめて手書きされたお便りは、短いひとことでも嬉しいものです。東長寺の書道教室では、小筆やペンなどご希望の筆記用具を使って練習できます。



仏教文化講座の後は萬燈供養へ

7月・8月はお盆の季節。亡き人のことを思いながら灯籠を水の苑に浮かべましょう。

仏教文化講座とついたち法要

夏の夕暮れは、どうぞお寺で

ついたち法要と同じく月初めの日、17時より仏教文化講座を開催しております。名称に「仏教」とあるものの、音楽や芸術、暮らしに役立つ体験談など、これまで仏教に限定せずに主題を取り上げてまいりました。

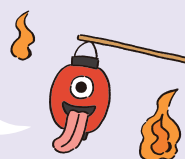
この夏の講座は、俳優による怪談噺や、授戒式に合わせてお坊さまをお招きし戒名のお話をいただくなど、様々な内容を予定しています。

厳しい日差しはやわらぐ時間ですので、お友達やお知り合いの方とお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

予告

8月の仏教文化講座は番外編！ 「納涼怪談噺」

どんなお話がとびだすのか、当日をお楽しみに！
※出演者など詳細は12ページをご覧ください



輪島だより

お互いを思い、ともに歩むための

vol.1

東長寺は輪島屋善仁を
応援しています

山内各所のしつらえや、
お位牌制作を手がけてきた
「輪島屋善仁」。復興に向
け歩む同社の一助となる
よう、様々な支援活動
をお寺で行っています。

檀信徒の皆さまから いただいた力強い支援を 輪島へお届けしました

東長寺と輪島をつなぐ情報をお届けしていきます。第一回目となる今回は、
現地からの復興進捗情報に加え、地震発生直後に開始した山内募金のご報告や、
今後開催するチャリティイベントについてお知らせします。



再び動き始めた輪島塗の工房。
仮の作業場なので少量ずつ…。
写真提供：輪島屋善仁

1月

約十日間で皆様より寄せられた 災害復興祈禱料 全額を輪島に寄付しました

二〇二四年元日。家族や親しい人々が
顔を合わせ、新年が良きものとなるよう
祈るその日。能登半島を襲った最大震度
7という大地震は、穏やかな時間が流れ
るはずだった日常を奪い去ってしまいまし

2月

避難中の蒔絵職人さんが 法具を修復 お寺にお届けくださる

輪島屋善仁には行商の伝統があり、先
代住職の頃より約30年変わらず、ほぼ毎
月、いつも同じ方が輪島からお寺へ来てく
ださり、お位牌の受け渡しや、修繕、時

た。初詣の方々と新年のご挨拶を交わし
ていた東長寺にも、この知らせは大変な衝
撃と悲しみをもたらしました。被害が甚
大だった輪島市には、ゆかりの深いふたつ
の場所があったからです。ひとつは曹洞宗
の聖地である総持寺祖院、そしてもうひ
つとは東長寺山内の祈りの場に仏具や設
えの制作を依頼してきた輪島屋善仁です。
少しずつ明らかになっていく現地の惨状
を受けて、東長寺では輪島屋善仁に向け
た募金活動を開始。さらに2月の大般若
会では災害復興をご祈念し、ご祈禱料を
全額寄付することになりました。皆様
にはお手紙で急遽お知らせしたにも関わ
らず、法要まで約十日間という期間中、
実に約九百万円の浄財が寄せられました。
直接お持ちくださる方も多く、皆様のお
心とご支援への思いを強く感じ、感謝の思
いがあふれる大般若祈禱会となりました。

この秋
開催

輪島屋善仁当主

中室氏が語る輪島の今

輪島塗の故郷で、なにが失われつつあるのか
知りつつけることが「取り戻す」ためのエールとなります

中室耕二郎氏は創業1813年の輪島塗製造元「輪島屋善仁」九代目当主で
す。能登半島地震で被災するも、その翌日から職人の安否確認や工房復
旧作業を開始。いち早く全国へと情報発信する行動力を、工房のベテラ
ン職人は「無二のリーダー」と称し厚い信頼を寄せています。漆芸史上最
良のものづくりを職人と共に再び目指す、中室氏のお話。
ぜひじっくりと耳を傾けてください！



11月3日(日・祝)
大施食会法要の日に
中室氏が来山予定

輪島塗の歴史や輪島の今、そして
これからについてお話しくださいます。
※詳細は次号萬亀にて告知します

復興の最中
輪島塗とこれからの輪島屋善仁

中室耕二郎氏
株式会社輪島屋善仁 代表取締役社長

寄付活動報告

これまでの山内寄付活動をご報告いたします。



皆様のご寄付を
輪島屋善仁へ
お届けしました

- 大般若祈祷会 復興祈願祈祷による寄付……8,985,000円
- 郵便振替・山内寄付箱・ご持参等の寄付……542,652円
- 精進料理の会 ご参加による寄付……140,000円
- 結の会入会輪島支援企画による寄付……3,200,000円

1月に急遽呼びかけをした大般若祈祷会での「災害復興ご祈祷」は、短期間にも関わらずたくさんの方より申し込みをいただき約9百万円の浄財が寄せられました。これに東長寺からの志を合わせ、合計1千万円を施主のお名前を記した芳名帳とともに、3月13日に輪島屋善仁へお届けいたしました。

さらに郵便振替・山内寄付箱・ご持参等の寄付と、精進料理の会・結の会支援企画による寄付を合計した388万2,652円を5月15日に同社へお届けいたしました。心を寄せてくださる皆様に、紙面をもって深くお礼申し上げます。

※5/17開催「歌とフルートのコンサート」も参加費の一部を輪島支援のために寄付させていただきました。
こちらは次号にてご報告いたします。

寄付金専用振込口座を開設しております。
こちらへお預けいただいた浄財は、輪島屋善仁支援として寄付させていただきます。
皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

口座名称 トウチョウジ

●ゆうちょ銀行(郵便局)から
振り込む場合

[口座記号番号]00100-9-695869

●他の銀行から振り込む場合

[銀行名] ゆうちょ銀行
[店名] 〇一九(ゼロイチキュウ)
[店番] 019
[口座番号] 当座0695869

東長寺所蔵 輪島塗作品展示
3月21日開催

輪島塗作品を一堂に
書院にて展示しました



春のお彼岸に開催された「輪島塗でいただく精進料理の会」。会場となった書院に山内所蔵の輪島塗作品を並べ、輪島屋善仁デザイン室の安藤五十治氏の解説文とともにご参加の皆様にご覧いただきました。食器だけではなく、法要行事に使用する法具や印籠などお寺ならではの道具も揃い、当山と工房との絆を示す展示となりました。



修復済の笏
(5月のついたち法要にて)

震災後の混乱の中、工房の時絵職人さんがこの笏とともに二次避難され、避難先で傷んだ部分の金継ぎや蒔絵を施したということです。それをいち早く

には新調など様々な相談をしてきました。平成からの東長寺をよくご存じで、文字通りお寺と輪島をつなぐ存在です。震災でお体は無事だったものの、ご自宅の被害が大きく避難所での生活を余儀なくされているということでしたが、2月末のある日、お寺にお見えになったのです。
まだ倒壊した家屋が並ぶという輪島から、車を運転していらつしやったその手に携えていらしたものに驚かされました。それは住職が法要で用いる笏こつという法具。少し傷んでしまったために、去年のうちに輪島屋さんに修繕を依頼していたのですが、すっかり綺麗になっておりました。

一進一退の復興 まだまだ支援が必要です

く届けてくださったのは、支援の気持ちに込めたいという一心。その有り難さに、こちらが励まされるような出来事でした。
工房では3月下旬にようやく水道が復旧し、下地や研物などの一部工程を再開。繊細な上塗りを含む全行程の作業が復活したのは桜の季節を過ぎた4月半ばのことでした。いずれも仮の作業場で少量ずつの作業を強いられ、完全な復旧にはまだ長い時間がかかる見込みです。
時間の経過とともにニュースなどでは輪島の状況を取り上げることが少なくなってきましたが、能登半島の復興はまだまだ始まったばかり。東長寺は参加しやすいチャリティイベントなどを開催して皆様と支援を続けてまいります。

夏開催も
決定

輪島塗でいただく精進料理の会

見て触れて、味わって
楽しみながら輪島を支援しましょう

お箸、お椀、お膳にいたるまで輪島塗にて召し上がっていただく精進料理の会です。漆器のやさしい質感もお楽しみいただけます。「どんなお料理が出るのかしら」という方も、春に参加されたという方も、どうぞご予約の上ご参加ください。参加費の一部を輪島屋善仁復興のために寄付いたします。

開催日：7月26日(金) 11:30より受付
会費：12,000円(内、1万円を寄付いたします)
定員：限定16名様
会場：本院書院(椅子席となります)
参加方法：お電話にてお早めにご予約ください

☎ 03-3341-9746



春彼岸開催時の献立 一の膳
(夏は内容が異なります)

暮らしをととのえる

お寺のおはなし

仄かな香りに思いを込めて



香りを供えるお線香や焼香。ご家庭のお仏壇ならば故人の好きだった香りやハーブ等を、季節毎にお供えなさってもよいものです。

檀

信徒の皆様から、折々にお手紙をいただくことがあります。寺報の感想や季節のご挨拶などいつも楽しく拝読しております。前号萬亀では、お寺でご家族の法要をされた方から届いたお手紙を読者の広場の頁にてご紹介しました。そこには、法要に同席した10歳のお孫さんの文章が添えてあり「初めてのお焼香をおでこにくつつけてしまった」というエピソードがいきいきと描写されていました。

* * *

焼香は、煙ではなく「香り」をお供えする供養です。抹香を焼べる作法や回数などが宗派によつて様々ということもあり、「これであっているのかしら」と大人でも戸惑うことがあるかもしれません。しかしお作法としての正確さに捕らわれる必要はありません。ぎこちなく上の空の焼香になってしまうよりも、大切

なのは故人の冥福を心より祈り、捧げるということです。

そのためには焼香の前後に行う「合掌一礼」こそ、気持ちを込めて行いたいものです。順番が近づくとき緊張してしまう方も、焼香台の前に立ちましたら、まずは合掌で心を静めましょう。そして合掌のまま一礼をいたします。焼香は三指で抹香をつまみ、もう片方の手を添えて軽く持ち上げ、香炉にくべます。そしてご供養させていただいたことに感謝を込めて合掌一礼し、焼香台から離れます。

* * *

普段のお参りやご家庭では、焼香よりもお線香をお供えすることが普通ですが、どちらの場合もよい香りをお供えすることが本来の役目。「この香りを楽しんでください」と亡き人に贈り物をなさる気持ちで、香りを選んでみてはいかがでしょうか。



とうちょうじ 東長寺こども食堂



子連れの方ならどなたでもご利用いただける、食事の場と、遊び、学びの場を提供するためにボランティアスタッフが運営しています。

こども、そして保護者にとっての居心地のよい場所であることを大切にしています。

※詳しくはお電話またはInstagram、Facebookよりお問い合わせください。

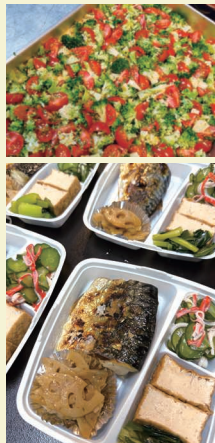
Instagramは
こちら！



Facebookは
こちら！



身近な食材から、幅広い種類を選ぶことを心がけて料理しています



こども食堂に行き交う 様々な「めぐりあい」

春彼岸中日の「ものめぐり市」では、どちら様も大事なお使いになられた良質なものを出品くださいました。そして大勢の方が立ち寄ってお買い求めくださり、おかげさまで売上金は1万8300円となりました。これを全額こども食堂の運営費としてお預かりいたしました。一食の予算はおよそ300円程度ですので、60人分くらいの食事を作ることができます。皆様、本当にありがとうございます。

ボランティア募集 ご連絡先

電話

03-3341-9746

メール

ayakot@tochoji.org

担当：金剛地(こんごうち)・松村

こども食堂開催日

6月4日(火)・16日(日)

7月9日(火)・21日(日)

8月6日(火)・18日(日)

9月3日(火)・15日(日)



アニメのキャラクターが描かれた歯ブラシに、こどもたちは夢中でした。

した。先日はボランティアの方からの縁で、歯ブラシをたくさん(本当にたくさん!)分けていただきました。こどもたちが大好きなキャラクターのイラスト付き。保護者の方にとっても歯ブラシならいくらあっても無駄になりませんから、申し分ありません。好きなだけ選んで帰ってもらいました。この日の合言葉は「ごはんを食べたあとは？」「はみがきー!」。

楽しい習慣になってくれたらいいなと思います。手を振りました。

こども食堂にご賛同いただき、ご寄附くださった方々

三崎ゆきこチャリティコンサート様、前田 高雄様、瀧澤 紀雄様、渡邊 友子様、中島 彰嗣様、丸山 美和子様、森 哲夫様、匿名ご希望者19名

皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。郵便振替口座へご寄付の際に、ご芳名を記載させていただける方は是非ご一報ください。



昨年のイベントの様子
予定です。

休みの課題のひとつ、あるいは楽しい学びの場としてご参加ください。詳細はこども食堂のSNSなどを通じて募集

東長寺のSDGs
こども防災まちあるき
開催します

引き続き、お米や食品、またはお米券や余っている商品券などを募集しております。尚、ご送付の際は、お手数ですが、内容・日程等を、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。また、「こども食堂宛に寄付金を送金したい」という有り難いお声を受けて、振込口座を開設しています。

● ゆうちょ銀行(郵便局)から振り込む場合

[口座記号番号] 00160-1-768735

[口座名称] トウチョウジコドモシヨクドウ

● 他の銀行から振り込む場合

[銀行名] ゆうちょ銀行 [店名] 〇ー九(ゼロイチキュー)

[店番] 019

[口座番号] 当座0768735

[口座名称] トウチョウジコドモシヨクドウ

[問い合わせ] 03-3341-9746 東長寺(担当:金剛地)

※防災を学ぶまち歩きは、SDGsのゴールのひとつである「住み続けられるまちづくり」に繋がるアクションです。

東長寺では、持続可能でよりよい世界を目指しながら「誰一人取り残さない」という国際目標「SDGs」の実現に身近なことから取り組んでいます。このページでは、こども食堂の活動を中心に、その他のSDGsアクションをご紹介します。

お知らせ

再開 葬儀説明会を 開催いたします

東長寺で執り行っているお葬式の流れや、事前準備などを確認できる葬儀説明会を再開いたします。6月に2回、7月は仏教文化講座として実施します。疑問や相談に答えする質疑応答もごさいます。

開催日…6月15日(土)・25日(火)

7月1日(月)

会費…不要

※参加方法や受付時間など、詳細は萬亀に同封のチラシをご覧ください。

ご好評につき夏も開催！ チャリティー 輪島塗でいただく 精進料理の会

皆さまに輪島塗を再認識していただきたいという思いでこの春開催した「輪島塗と精進料理の会」。おかげさまでたくさんの方にご参加いただき、「楽しみながらできる支援というのも、良いものですね」とあたたかい感想も頂戴いたしました。

ご好評を受けて、夏も開催することといたしました。旬の食材をもちいた精進料理を輪島塗本膳にて召し上がっていただきます。どうぞ、手や唇に伝わる温かな漆の肌合いをご体験ください。参加費の一部を輪島屋善仁支援に寄付させていただきます。

会場…本院書院※椅子席です
日時…7月26日(金)
11時半受付

会費…1万2千円(内、1万円を輪島屋善仁へ寄付致します)

参加方法 お早めにお電話にてお申し込みください

☎ 03-3334-1974

予告 秋の真光寺ツアー 計画中です

昨年、結の会新規入会の方を対象に開催した「秋の清涼院ツアー」につづき、今年はどうひとつのコラボ寺院である真光寺へ檀信徒の皆様と旅するツアーを企画しております。詳細を次号萬亀にてご案内させていただきます。

添菜单

須田早野江様(てぬぐいたくさん)
溝江良子様(新米たくさん)
奥長あづさ様(タオルたくさん)
生方組様(お米・カレンダーたくさん)
廣川貞雄様(お米たくさん)
関根弘子様(お線香たくさん)
坂井愛子様(タオルたくさん)
廣野八哉様(お線香たくさん)
前田高雄様(切手たくさん)
匿名ご希望 4名様
誌面をもって深くお礼申し上げます

東長寺の蚤の市 ものめぐり市 開催しました！



次回も
お楽しみに！

お彼岸に初開催した「ものめぐり市」。檀信徒の皆様より「次の方へ使ってほしい」と寄せられた食器や服飾品、手作りの品など状態の良いものばかりが並びました。訪れる方の好評を受けて、当初1日限りを予定していたところ、お彼岸中も開催を延長。多くの品が新しい持ち主へとめぐっていきましました。売上は東長寺こども食堂へ寄付させていただきました(詳しくは10ページも御覧ください)。出品いただいた方も、お買い求めいただいた方もありがとうございました。

東長寺と清涼院で法要と埋葬を連携し 保護猫たちの供養をいたしました



文由閣の法要の様子



ペットのお墓(清涼院)

動物保護団体に保護されている犬や猫などの動物たち。ペットとして飼われることを願って保護されても、ご縁に恵まれず引き取り手のないままに命を終えることもあります。法律上は産業廃棄物とみなされてしまう動物たちの遺骨を、供養するすべを探していた動物保護団体「ちばわん」さんの依頼を受けて、東長寺・文由閣にて追善供養の法要を行いました。その後、遺骨は気仙沼の清涼院に建立されている「ペットのお墓(動物たちの合葬墓)」に埋葬されました。当山にとっても清涼院においても初の試みでした。

開催済 山内行事のご報告

■春彼岸会法要(3月21日)



法要の様子

仏花もたくさん上がり、お墓参りにも多数の方がお越しになりました。

寒の戻りでひんやりと、お天気が危ぶまれた彼岸期間でしたが、中日の法要には各座とも大勢の皆様にご参列いただきました。墓地の

■授戒式(4月1日)



授戒式の様子



一日修行

授戒者25名のうち13名の方が授戒式に参加し、一日修行をいたしました。
須弥壇に上り、僧侶からお祝いのお拝を受ける儀式は皆様の心に深く残ったようです。

■花まつり新年会(4月7日)

大本年は山内での開催となり、本堂で釈尊降誕会法要をおつとめしたのち、書院にて賀寿の祝宴が開かれました。今年一番多かったのは卒寿(90歳)のお祝い、皆様が大変に快活でいらつしやり、敬服いたしました。お食事中的ご歓談には花が咲き、ご参加の皆様同士や山内職員とも親睦が深まる佳き一日となりました。



新年会の様子



手品も登場



花まつり法要

■平和の祈り(4月8日)

釈尊降誕会に際し、正午に梵鐘を鳴らして平和を祈りました。

ぜひご参加を!

仏教文化講座

耳を傾けるたのしみを ついたちの宵に

7月・8月・9月の仏教文化講座は、毎月趣向を変えてお届けします。参加費・事前予約不要でどなたでもご参加できます。ぜひ、お誘いあつてご来山ください。

7月1日(月)

「テーマ..東長寺の葬儀」

「事前に知りたい葬儀のあれこれ」

ご案内..東長寺事務局

葬儀の流れや事前に用意するべきことなど、東長寺ではどんな葬儀が行われているのか、スライドを用いてご説明いたします。

ご家族やご親戚の方と一緒に葬儀のお話を聞いた後に
ついたち法要も見学されては
いかがでしょうか



萬燈供養の様子

8月1日(木)

「テーマ..夏の風物詩」

仏教文化講座 番外編「納涼怪談噺」

出演..金剛地武志(俳優・音楽家)

佐藤あかり(俳優座女優)

江戸時代から続く夏の風物詩。東長寺ゆかりの俳優たちによる怪談噺で夕涼みはいかがでしょう。演目は当日のお楽しみです。

【演者プロフィール】

佐藤あかり

劇団俳優座1994年入団。舞台公演の他、外国ドラマ吹替にも多数出演
代表作:「対話」「マクベスの悲劇」(舞台)「ER-緊急救命室」「チャングムの誓い」(吹替)など

金剛地 武志

俳優、音楽家としてTVドラマ出演、バンド活動の他、映画音楽も手掛ける
代表作:静かに燃えて(出演、音楽制作)、NHKらんまん、特捜9(出演)など

9月1日(日)

「テーマ..仏教」

「戒名を持つ意味を考えるー仏さまの真似をするー」

講師..秦慧洲師(曹洞宗 龍谷山田中寺)

ご葬儀の際にいただくことが多い戒名。そこには仏教徒としての大切な習慣「戒」が示されています。人生の道しるべとして共に学んでみましょう。

【講師プロフィール】

2011年、大本山永平寺にて修行。駒澤大学大学院修士課程を経て、現在は曹洞宗総合研究センターに所属。仏教徒の作法や規範について参中。

予約不要

参加費..無料 場所..本院地下「羅漢堂」 時間..16時半開場/17時開講

集まる・学ぶ

寺のある暮らし

ひと月に1度、お寺で過ごす予定を入れてみませんか。

新しい出会いや気付き、ちょっとした学びを探しに、ぜひお寺へお越しください。

※印の付いた教室・同好会に新規参加ご希望の方はお電話にてお問い合わせください

仏教に触れる 集いとイベント

【坐禅会】

坐禅は、曹洞宗にとって最も大切で基本的な修行です。初めての方、お坊さんと坐禅してみましよう。

参加費・・・お布施(3百円程度)

場所・・・本堂

開催日・・・6月15日(土)・22日(土)

7月27日(土)

8月24日(土)

9月14日(土)・28日(土)

時間・・・18時より



授戒式の椅子坐禅

ご自宅でも坐禅を実践してみてください。足を組まない椅子坐禅は、思いついたらすぐ始められるのでおすすめです。



写経の会の様子

道具もすべてご用意しております。静かに筆を運ぶひとときを体験してみませんか。

【写経の会／お経の会】

般若心経を丁寧にご書写していく写経の会と、仏教の本を読み上げて学ぶお経の会の2つを同時開催しています。

参加費・・・各会千円

場所・・・本院書院

開催日・・・6月21日(金)

7月19日(金)

8月16日(金)

9月20日(金)

時間・・・11時より

※写経の会、お経の会は別々の会となります。最初に合同でお経を読んでもらう、各会に分かれます。

【「仏教讃歌を歌う会」】

仏教の教えを知る「仏教讃歌」を合唱形式で歌う同好会です。

参加費・・・2千円

場所・・・本院カフェきあん

開催日・・・原則第三金曜日

時間・・・14時より

※先生のご都合で、第三以外の金曜日になる場合があります。

【寺カフェ】

お茶やコーヒーをいただきながら、東長寺につとめるお坊さんたちと交流しましょう。開催中は好きな時間にお越しください。



寺カフェのイメージ

参加費・・・お飲み物3百円など

場所・・・文由閣1階ロビー

開催日・・・6月5日(水)・27日(木)

7月26日(金)

9月3日(火)・27日(金)

時間・・・15時から閉門迄

連絡先・・・結の会事務局

※8月は休会いたします。

各種教室と同好会

※以下の会は休会といたします。

お掃除ボランティア

※以下の会は閉会となりました。

折り紙教室、水彩画同好会

【太極拳】

深い呼吸とともに、ゆったりとした動きの中から、体軸を整えていきます。年齢を問わず、生涯を通じて楽しむことができます。

参加費・・・3百円

場所・・・文由閣3階講堂

開催日・・・

6月5日(水)・12日(水)・26日(水)

7月3日(水)・17日(水)・24日(水)

8月7日(水)・14日(水)・21日(水)

9月4日(水)・11日(水)・18日(水)

時間・・・10時半より



はじめての方もどうぞ気負いなく体験なさってみてください。

「ヨガ」

文由閣の落ち着いた空間にて行うヨガ。運動量が異なる2種類のクラスがあります。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費…千五百円

場所…文由閣5階慈嶽堂

開催日…6月9日(日)

8月3日(土)

9月29日(日)

クラスと時間…(各回75分)

①流れるように動くよう!

フローヨガ 9時45分より

②ゆっくり丁寧に動くよう!

ハタヨガ 11時30分より

定員…各回8名(①②の参加者

合計4名より催行)

※お手数ですがヨガマットをご持参ください。100円ショップなどで販売されているものでも十分です!

※7月は休会いたします。

「そば打ち同好会」

夏季は休会いたします。ご興味のある方はお電話にてお問い合わせください。

連絡先…担当舟木／

☎04-2001-0711

「碁縁の会(囲碁)」

静かな空間に碁を打つ音が響く、集中と交流のひとつとき。

参加費…無料

場所…本院カフェきあん

開催日…6月13日(木)・27日(木)

7月11日(木)・25日(木)

8月8日(木)・22日(木)

9月12日(木)・26日(木)

時間…12時半より

文由閣サロン

いずれも文由閣1階にて開催します

「テーブル茶道」

流派にとらわれず、自分のためにゆっくりお茶を点ててみましょう。道具の用意もごさいます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費…3千円

(お茶、季節のお菓子付)

開催日…6月11日(火)

7月16日(火)

9月10日(火)

時間…14時半から16時迄

定員…8名

※お気に入りの道具があれば、ご持参ください。

※8月は休会いたします。

「テーブル華道」

四季折々の草花で、暮らしに彩りを添えましょう。

道具、花の用意もごさいます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費…3千円(花材費込)

開催日…6月18日(火)

9月17日(火)

時間…14時半から16時迄

定員…8名

※使い慣れた生花鋏をお持ちの方はご持参ください。

※3ヶ月毎の季節開催です。

「お習字教室」

毛筆・硬筆どちらでも基礎からしっかりと学べます。

経験者の方は上達に合わせたお手本に取り組みます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費…2千円

開催日…6月24日(月)

7月8日(月)・22日(月)

8月26日(月)

9月9日(月)

時間…14時半から16時迄

定員…8名(参加者1名より催行)

「リブウェル・サロン」

今をよりよく生きるために、人生の終わりの時について前向きに学びましょう。

事前予約制(お電話にて当日前迄)

参加費…無料

時間…10時から12時迄

(個別相談を含む)

定員…10名

連絡先…結の会事務局

開催日とテーマ…

6月11日(火)「エンディングノートの役割と目的」

6月25日(火)「エンディングノートと終活」

7月9日(火)「終活にかかる費用」

7月23日(火)「チャート図から分かる、自分の終活」

※リブウェル・サロン、終活セミナーの詳細については、萬亀に同封のちらしもご確認ください。

※8月のリブウェル・サロンは休会いたします。

暑い日のひとやすみにも文由閣へ



山内行事

2024.7月—9月

「ついたち法要」

「日時」7月1日(月)・

8月1日(木)・9月1日(日)

各日、18時30分開始

毎月ついたちにおつとめする、その月に亡くなられた方を偲ぶご供養です。読経では戒名を読み上げ、参列の皆様で水の苑に燈明を流す「萬燈供養」をいたします。
檀信徒のみならずどなたでも参列いただけますので、故人とゆかりのある知り合いの方やご友人もぜひお誘いください。

「お盆供養」



お盆は正式には「盂蘭盆会(うらぼんえ)」といい、先祖の霊を家庭に迎えて供養する期間として、正月と並び日本の国民的行事となっています。また、四十九日を過ぎて初めて迎えるお盆を「新盆」といいます。したがって、5月26日以降(四十九日以内)にお亡くなりになった場合は、その翌年が「新盆」となります。

個別法要のご案内

昔は、お盆になると盆棚を設け、さまざまなお供えをしたものです。ナスやキュウリで作った牛馬も懐かしい思い出です。

昨今はご自宅に盆棚を用意するのは難しいという方も増えてまいりました。ご自宅に代わってお寺で個別に先祖供養をいたします。ご法要と同様に、お身内が集まり親しく交流する機会としていただければ幸いです。

日程を調整の上、ご希望に沿っておつとめいたしますので、まずは

お電話にてお申し込みください。

●お盆の合同法要の

出欠に関するご連絡について
出欠は御とうばの申し込みとともに、萬亀に同封の「申し込みはがき」にてお知らせください。参列のための電話予約は必要ありません。

●お盆の御とうばについて

ご参列の有無にかかわらず、萬亀に同封の「申し込みはがき」にて、御とうばをお申し込みください。
盂蘭盆会法要にて、施主のお名前を読み上げ、ご供養いたします。詳細は下記の枠内をご確認ください。なお御とうばをお申し込みにならない場合は、「申し込みはがき」の返信は無用です。



お盆の時期の山内(昨年の様子)

盂蘭盆会法要 御とうばのお申し込み方法・ご注意

申し込みはがきについて

宛名の面に、ご住所・ご芳名・電話番号を必ずご記入ください。切手は不要です。施主氏名にはフリガナをふってください。

御とうば代金および回料御志納方法

来山時にご持参いただくか「現金書留」又は「郵便振替」よりお選びください。

現金書留をご利用の場合

①萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入ください。

②現金書留専用の封筒を郵便局窓口で購入いただき、「申し込みはがき」と代金を同封の上、発送してください。

※必ず「申し込みはがき」を現金書留封筒に同封ください。

郵便振替をご利用の場合

①萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入の上、投函ください。

②萬亀に同封の「払込用紙」にお名前、連絡先をご記入の上、払込手続きを行ってください。

※必ず萬亀に同封の「払込用紙」をご利用ください。

お申し込み締切日 **6月30日(日)必着**

郵便事情が悪くなり、配達にかかる日数が以前より大変長くなっております。なるべくお早めにご投函ください。

その他

・盂蘭盆会の塔婆を立てる月について、申し込みはがきに○印にてご記入ください。ご記入のない場合、7月の盂蘭盆会に立塔婆いたします。

・お檀家御塔婆は1本5千円、花とうばは1本2千5百円です。花とうばは、連名不可とさせていただきます。

「七月盂蘭盆会法要」

七月盂蘭盆会合同法要は左記の日程にておつとめいたします。
ご都合に合わせてご参列ください。

〔日時〕7月13日(土)

第一座…午前10時受付

10時半打ち出し

第二座…正午受付

12時半打ち出し

第三座…14時受付

14時半打ち出し

八月月遅れ

盂蘭盆会法要

東京に住んでいるけれど「7月盆はどうも馴染まない、8月にお盆を迎えたい」という方、また、ご家族と一緒にとなかなか外出できないので、休みの日にお参りしたいという方のご要望にお応えして、8月の盂蘭盆会合同法要をおつとめしております。
7月にいらっしやれない方は、ぜひご参列ください。

〔日時〕8月11日(日・祝)

午前の部…10時半受付

11時打ち出し

午後の部…13時半受付

14時打ち出し

●盂蘭盆会など、季節の大きな法要の時には、郵送にてお布施をお預かりした際に、受取済みの連絡を個別に差し上げることができません。誠に申し訳ございませんが、あらかじめご了承ください。

授戒式

〔日時〕9月1日(日)

お釈迦様より伝えられた戒律を授かり、仏弟子となる儀式です。縁の会・結の会会員で未授戒の方を対象に年に2回厳修しています。

今年2回目の授戒式は、9月に開催することになりました。まだ授戒されていない方で参列ご希望の方はご連絡ください。

すでにお申し込みをいただいている方には詳細を追って別送にてお知らせいたします。

今年新盆をむかえる方へ

該当の方には別途お知らせを送りいたしております。
亡くなられてから初めて、故人がご家族のもとへ帰っていらっしやる期間ですので、多くの方がとても大切にされています。お気持ちに沿ったかたちをお選びいただき、故人をお迎えになれますようご案内申し上げます。

新盆 個別法要のご案内

家族だけで、またご親戚やご友人にご参列いただき、お寺でご供養するプライベートな法要です。

日程を調整の上、ご希望に沿っておつとめさせていただきますので、まずはお電話にてお申し込みください。

合同法要は都合がつかないという方も、どうぞお気軽にお問い合わせください。

〔期間〕7月8日～8月10日

7月13日は除く

〔時間〕10時～16時

●ご予約は先着順となります。

新盆 合同法要のご案内

新盆合同法要は、亡き方とお別れしてまだ一年に満たない新盆を迎える方が一堂に会してご供養する合同の法要です。

日程が合わない方は、一般の方とご一緒に7月か8月の盂蘭盆会法要にご参加ください。

〔日時〕7月7日(日)

午前の部…10時半受付

11時打ち出し

午後の部…13時半受付

14時打ち出し

〔ご回向料〕おひとりにつき

1万円(花塔婆込み)

●ご参列希望の方はお電話にてお申し込みください。



大勢の方がご参列した昨年の様子



靴下着用をお願いします

初夏を迎えいよいよ暑さ厳しくなる季節。普段は素足でお出かけになる方もいらっしやると存じます。山内でお履物を脱がれた際には、素足のままではなく靴下などを着用してお上がりくださいますようご協力お願いいたします。

東長寺 基本情報

■開門時間について

9時から17時までといたします
(ついでに法要開催日を除く)。

■電話での対応

9時半から17時までといたします。

【代 表】03-3341-9746

【縁の会】03-3353-6874

【結の会】03-5315-4015

■御葬儀、年回忌の法要について

山内葬儀、出張葬儀、年回忌法要
(参列者なしの場合を含む)もおつ
とめております。詳しくはお電
話にてお問い合わせください。

■お墓参りについて

開門時間内にお参りください。ま
た、墓所において、害獣・害虫に
よる被害が発生しております。せ
つかくのお供え物ですが、お参り
が終わったあとはお持ち帰りくだ
さいますようお願い申し上げます。

■ついでに法要について

毎月ついでに、その月に亡くな
れた方のお名前を読み上げ、ご供
養しております。どなたでも予約な
くご参列いただけます。

●法要開始18時30分

■花とうばについて

山内法要へのご参列の有無にか
わらず、花とうばを随時承つてお
ります。詳しくは左記をお読みい
ただき、お電話またはFAXにて
お申し込みください。

【電 話】03-3341-9746

【FAX】03-3341-2150

●お申し込みの際に、次の①～③
をお知らせください。

①故人のお名前

②施主のお名前

※FAXの場合は、ふりがなも
記載ください。

③花とうばの本数

●施主は連名不可です。

【代 金】1本2千5百円

●お支払いは現金書留にてご郵送
いただくか、次回ご来山の際に
ご持参ください。



読者のひろば

お寺でおしゃべりするように、うれしいことも、悲しいことも。お寺に届いたおたよりのご紹介

今回も檀信徒の方より、お手紙をいただきました。

お花の描かれた便箋には、ある心の疾患を召されているということ、「ストレスを要因として物事をポツカリ忘れてしまう症状」や、「めまぐるしく酷い妄想や幻聴のなか」過ごされていることが綴られていました。それでも「良いことを感じれる場合もございます」という言葉とともに、ペット共葬への共感と、ある朝出会ったまばゆいような情景を教えてくださいました。

その一部を抜粋してお届けいたします。

お手紙(一部)

"結の会"では、ペット葬が安心できる事です。(中略)ペットも…
忘れかけてしまいがちで目に見えない 大切な心のゆとりや愛情、
絆を感じられますね。
朝のウォーキングをしていたら、大学生くらいの男の子と
ゴールデンリトリバーが朝日が登っている光の中 たわむれている
景色に出会いました。私は 何て美しいのでしょうか!!と感動をしま
した。 散歩をしているだけではなく本当に優雅な光景といっても、
過言ではありません。
今でも その2人がそこだけ鮮やかに思い出されます。

萬亀紙面でお手紙やメールの交流をしませんか。

暮らしのなかで出会った「誰かに伝えたいこと」を萬亀編集部宛にお送りください。

メール info@tochoji.org

おはがき・お手紙 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34 東長寺「編集部」宛

次号予告

萬亀

2024年9月号 vol.147

【特集】

ご縁を結ぶ
旅へ

※内容は変更になる場合があります。

結の会のご案内

結の会新規ご入会による

輪島復興支援企画実施中

実施期間

2024年3月～8月末

概要

実施期間中、結の会入会お申し込みを頂くごとに、入会金の一部を輪島屋善仁復興支援に寄付いたします。

前号萬亀で呼びかけたところ、多数の入会お申し込みをいただきました。改めて感謝申し上げます。

自分らしい生き方をしてきた人々が、血縁にとらわれない無縁の縁を結ぶことを理念としている「結の会」。個人墓が一堂に集まる龍樹堂「写真」は、その象徴です。お堂のなかには、輪島屋善仁（石川県輪島）が手がけた厨子と位牌壇が訪れる人を包み込むように佇んでいます。

このたびの企画は復興支援によって、会員様と輪島とが「無縁の縁」で結ばれるきっかけとなることを願って実施しております。ご入会は輪島屋善仁でのお位牌制作にもつながります。そして新たな仕事を依頼することが、輪島塗復興の一助となります。

未入会のご家族や、入会を検討中というお知り合いの方が身近にいらつしやいましたら今回の支援企画について、ぜひご紹介いただければ幸いです。

【写真】

輪島塗の位牌壇が訪れる方を包む結の会納骨堂「龍樹堂」（文由閣4階）

結の会「カラーお位牌」と輪島屋善仁

結の会設立当初より、会員の皆様のお位牌の制作を手がけてきた輪島屋善仁。近年は従来の黒色に縛られない「カラーお位牌」のために、東長寺の依頼と構想に応じて幅広い漆の色彩をご提案いただきました。2023年より全8色のカラーお位牌として受付を開始したところ、たいへん好評をいただき現在では黒以外の色を選ぶ方がほとんどとなっております。



文由閣に各色の見本がございます。お参りの際に、ぜひご覧ください。

東長寺
檀信徒会館「文由閣」



資料請求や個別の見学予約も随時受け付け中です

会員様はもとより、未入会のご家族やお知り合いなど東長寺にご興味のある方もご遠慮無く、ご連絡いただければ幸いです。

「結の会」の詳しい情報はこちら

<https://tochoji.info/>



お問い合わせはこちら

TEL. 03-5315-4015 電話受付時間 9:30～17:00(日曜・祝日も受付)

MAIL toiawase@tochoji.org

どんなことでもお気軽にお問い合わせください

緑の会会員の皆様へ

結の会にて受け付け中の「ペット共葬」や「樹林葬」は、緑の会会員様も契約変更によりお申し込みいただくことが可能です。

詳しくは、文由閣に常駐の結の会事務局スタッフをお訪ねいただくか、上記のお電話またはメールアドレスまで、お問い合わせください。



東長寺寺報 萬亀

2024年6月号(第146号)

発行所: 曹洞宗 萬亀山 東長寺

発行日: 2024年6月5日

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34

(代 表) TEL.03-3341-9746 FAX.03-3341-2150

(縁の会) TEL.03-3353-6874

(文由閣・結の会) TEL.03-5315-4015



www.tochoji.jp

このパンフレットは
FSC®森林認証紙
を使用しています。

FSC®認証は責任
ある森林管理を認
証する制度です。

